

重要 丸山町会防災マップ補足 (マップと一緒に保存してください)

“その時”の基本的な避難方法 (生命を守り 危険から逃げる行動)

0~①命を守る ~②出火防止・救出 ③~⑤退避・避難 ⑥避難生活

時間・天候・季節などで事態は刻々と変化します。”その時“の状況を考慮して

◎**発災時 自身と家族の安全確保**

①揺れのあと **出火防止 ご近所声掛け 初期消火 救出行動**

②家が危険な時 戸外へ退避* ブレーカーを落とす・火気確認

③ **“町会指定一時集合場所=東洋女子高第2校庭・コーシャハイム周辺”**

*まずは深呼吸! *地域の状況を確認 *落ちついて次の行動を

○火災・倒壊など自宅に戻れない時は

④ **“区指定避難所=林町小学校”丸山町・大原町・林町の3町会が指定**

*区域の防災拠点 *入所は経路・施設の状況を確認後(時間が必要)

⑤ **広域火災など林町小学校が危険な時は“緊急退避場所(教育の森・御茶ノ水大学周辺)”**

避難行動に公式はありません 冷静に命をまもる行動を!

色々な状況を想定しておきましょう!

○感染症予防を考慮すると、避難所の収容可能人数はかなり少なくなります。

“在宅避難”が重要課題となります

○震災時には、困難な事態が予測されます。

* ライフライン(電力・ガス・上下水道・電話・交通・物流など)の不通

* 消防・警察・自衛隊・役所など【公助】の活動が困難に

⑥ ライフライン復活、救援活動開始までは“備蓄”での生活が求められます。

【自助】だけでは限界があります、【ご近所】との【共助】が不可欠です

“在宅避難”を可能にするには

○ 家庭で防災会議(集合場所・連絡方法・避難方法など)

○ 家屋・家具の耐震対策(耐震補強・家具固定)

○ 出火防止と初期消火(消火器・火災警報器の設置・点検・操作法習得)

○ 3日以上、できれば1週間分の備蓄(ライフライン・物流の復帰まで)

(水・食料・日用品・トイレ・照明・電源・医薬品など*個々のニーズにあわせて)

○ ご近所と助け合える体制(自助だけでは限度があります)

○ “防災マップ”片手に“防災ラリー”(防災施設・避難所・退避所・危険箇所を確認)

○ “防災訓練”“町会行事”に参加(顔見知りを増やす 防災知識・消火器操作などを習得)

*** “その時”に出来る行動は限られます 平時の行動が重要***

*** 助けられる人から 助ける人へ !**

【自助】(自分の身を自分でまもる努力)で【共助】を可能に

防災マップ用語

【丸山町会一時集合場所＝東洋女子高校第2校庭・コーシャハイム周辺】

* 町内の比較的広い 安全性の高い場所 * 設備・備蓄はなし

○リアルな情報の収集 ○みんなで落ちついて 次の行動を

【区指定避難所＝林町小学校】地域の防災拠点○区と連携○情報交換○物資の配給所

○丸山町・大原町・林町3町会が対象○自宅が危険なかが対象

○運営は3町会中心の運営協議会・避難者による自主運営

【緊急退避場所＝御茶ノ水女子大・教育の森公園周辺】

広域火災で指定避難所が危険な時の広い避難場所（とにかく 命を守る場所です）

丸山町の防災設備&器具

『無線機（トランシーバー）』現在町内に10台配置

電話が不通でも 町内全域の通信が可能 リアルで正確な情報が共有可能

近隣町会・避難所との情報交換も可能

『路上設置消火器』文京区で多数設置 火災時に誰でも使用可

『消火栓』道路上の黄枠マンホール 消火活動 『スタンドパイプ』の消火活動が可

『防火水槽』地下設置の水槽 『D級可搬ポンプ』で消火活動*浸水時の排水も可能

『AED』心肺停止時に使用 区施設・学校・医療施設等に設置あり

使用法は講習会・防災訓練で習得できます

『非常用井戸』町内5基 飲料には不適 生活用水に

『丸山防災広場』文京区の設備 トイレ2室 かまど2基 井戸が設置

『発電機』『ポータブル電源』救出活動 電動工具使用可・照明など

『電動工具』のこぎり・チェーンソー 『ジャッキ』自動車用 救出活動

『組立式リヤカー』『車いす』搬送 『大鍋』『コンロ』生活 など

* “防災訓練”で機器と使用法をごらんください！

“いざ、その時”には人材・設備・装備・知識はすべてに不足します。
スタッフ・ボランティアとして、ご協力いただける方を募集しています。

連絡先 丸山町会事務所ポスト 文京区千石3-37-16

ホームページ 千石のそよ風 sengoku-bunkyo.tokyo

～丸山町会～お問い合わせ

防災マップの補足として 避難方法・用語・設備のご説明をお届けします、
ご家庭の防災計画にお役立ていただけると幸いです

2021年4月